

一人一人のウェルビーイングの向上

の目指す子ども像：

学び続ける教職員集団の構築

子ども一人一人に応じた学習過程を工夫していくことができるよう、同僚性を発揮しながら、自らの授業を磨き、人間性や創造性を高める取組の推進

<キーワード>

- ・受容的・支持的・相互扶助的な同僚性
- ・教職員が学び続けられる環境の確立

<指 標>

- ・授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている。

学校指標▶ 「」

主体的・対話的で深い学びの実現

子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める対話的な学びの充実

<キーワード>

- ・授業観・学習観の転換
- ・単元や題材など内容や時間のまとまりの構成

<指 標>

- ・学校に行くのは楽しい。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。

学校指標▶ 「」

学校と地域の連携・協働

子ども一人一人が、社会の役に立ちたいと思うことができるよう、子どもが多様な社会的活動に参画できる機会の確保

<キーワード>

- ・コミュニティ・スクール（CS）の推進
- ・出前授業の実施、地域の取組への参加

<指 標>

- ・CS等の取組は「社会に開かれた教育課程」の実現に効果があった。

学校指標▶ 「」

学校環境の整備

子どもの安全を確保するとともに、安心して学び育つことができる環境の整備

<キーワード> ・学校危機管理マニュアル等の実質化

<指 標> ・自分には、よいところがある。

学校指標 ▶ 「」

・発達支持的生徒指導の推進、多様な教育ニーズへの対応の充実

・自分の学校の「いじめ防止基本方針」を知っている。



@SHIRIBESHI_MANABI

後志教育局
公式Instagram

必要な改革を躊躇なく進め、従来の日本型学校教育を発展

北海道教育推進計画

教育行政執行方針

中教審の動向

学習指導要領

生徒指導提要